

111.新型コロナウイルス感染症に伴う集中治療後症候群の研究

Post-Intensive Care outcomes of Patients with Corona Virus Disease 2019:
PICS-COVID study

研究の概要

近年の高度医療の進歩によって重症患者の生存率は向上しましたが、様々な機能障害が退院後まで継続し、集中治療後症候群(PICS)と呼ばれています。新型コロナウイルス感染症患者においても入院患者の約15%が集中治療室に入室すると言われておりますが、これらの患者の長期的な観察を報告した研究がないのが現状です。重症新型コロナウイルス感染症のPICS発症調査は非常に重要です。

研究の目的と方法

この研究の目的は、新型コロナウイルスに感染し集中治療室に入室した患者さんの身体機能、認知機能、精神の障害を調べて、新型コロナウイルスが重症患者の長期予後にどのような影響を及ぼすかを明らかにすることです。

本研究の参加について

ご自身のデータを研究に利用することを承諾されない方は下記にご連絡下さい。その場合も、診療上何ら不利な扱いを受けることはありません。

調査する内容

診療録、検査データの調査を行います。また、ICU退室6ヶ月後、1年後、2年後に身体機能、認知機能、精神に関するアンケート用紙を郵送致しますのでご協力をお願い致します。対象となるのは集中治療室で人工呼吸管理以上の治療を行った方で、調査項目は個人情報を含まない医学的情報である病名、治療経過のみです。患者さんのお名前、住所などのプライバシーに関する情報が外部に漏れることは一切ありませんのでご安心下さい。

調査期間

研究対象期間:2020年3月～2021年3月

研究実施期間:倫理委員会承認後～2022年12月

研究成果の発表

今回の研究で得られた結果に関しては、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告されることがあります。

研究代表者

国立病院機構東京医療センター 畠山淳司

当院における研究責任者

国立病院機構熊本医療センター 救命救急科 原田正公

問い合わせ先

国立病院機構熊本医療センター 救命救急科 原田正公

TEL 096-353-6501